

- 所在地／福岡県久留米市津福本町514-2
- 業 種／医療・福祉（児童福祉事業）
- 従業員／60名
- 創 立／1981年
- U R L ／<https://kanamaru.jp/index.html>

■ 目指した姿

- ・従来のやり方に加え、新しい風も取り入れながら、園全体でスキルアップしていく。
- ・誰でも意見を出し合える雰囲気があり、長く働くことのできる職場。

■ 取組のきっかけ

- ・若手や入職した職員に対し、丁寧に業務を伝えるための時間の確保が難しかった。
- ・一人の業務の負担が大きいクラスもある。

■ 取組内容

- ①園のマニュアルを更新する。  
→業務における判断基準を明確にし、レクチャー時間の削減を図る。
- ②業務を見える化し、一人ひとりの役割を把握する。  
→担任以外の職員でも出来る業務を割り振り、助け合いながら保育できる環境を作る。
- ③職員が事務作業に集中できる時間や、職員間で情報共有する時間を確保する。  
→ノンコンタクトタイム(勤務時間内に、子どもから離れる時間)を導入する。

■ 取組効果

- ①園全体で業務やルールの再確認が出来た。  
若い職員が様々な業務を把握し、見通しを持って準備、保育することにも繋がった。
- ②園全体の業務を進めながら、残業をせずに定時で帰れるようになった。クラス全体のチームワーク向上に繋がった。
- ③保育環境の改善に取り組める時間的な余裕が生まれ、保育士同士の連携が取りやすくなったり、保育の質を向上させることが出来た。

■ 取組プロセス

基本  
講座後

「保育園」として目指したい姿や、職員にとって働きやすい環境を具体的に考え、そこに向かうためのアクションをまとめていった。

中間  
報告会后

決めたアクションを実行する。他の職員も巻き込みながら、園全体で情報を共有し取り組んでいった。

■ ノンコンタクトタイムの導入



■ 取り組んでみた感想とメッセージ

幅広い年齢層の職員が在籍し、業務内容も様々だが、若い世代でも、ベテランでも、主婦の職員でも、働きやすい職場とは何か？と具体的に考え、それぞれの業務を見直していった。現場の意見を取り入れながら園全体で取り組んだことにより、スムーズに進めていくことが出来たので良かった。